

▶製品への反映については
34～41ページ「性能別製品一覧」も
ご確認ください。

抗ウイルス性

■感染対策のニーズが高まり、注目されている性能です

近年、室内の感染対策への関心が非常に高まっています。

壁紙やカーテン、什器などさまざまな内装の構成要素で抗ウイルス化の試みが行われています。

当社では、UVコーティング層に抗ウイルス成分を配合することで、抗ウイルス性をもった床材を実現しました。

▶抗ウイルス性が 必要となる要因	不特定多数の人が集まる場所	製品でウイルスの繁殖を抑え、製品から人への繁殖 を防ぎます。
▶抗ウイルス性を 必要とする場所	●医療施設、福祉施設のリハビリ室 ●医療施設、福祉施設のレクリエーション室	●幼稚園、保育園の教室 など

■抗ウイルス性の分類

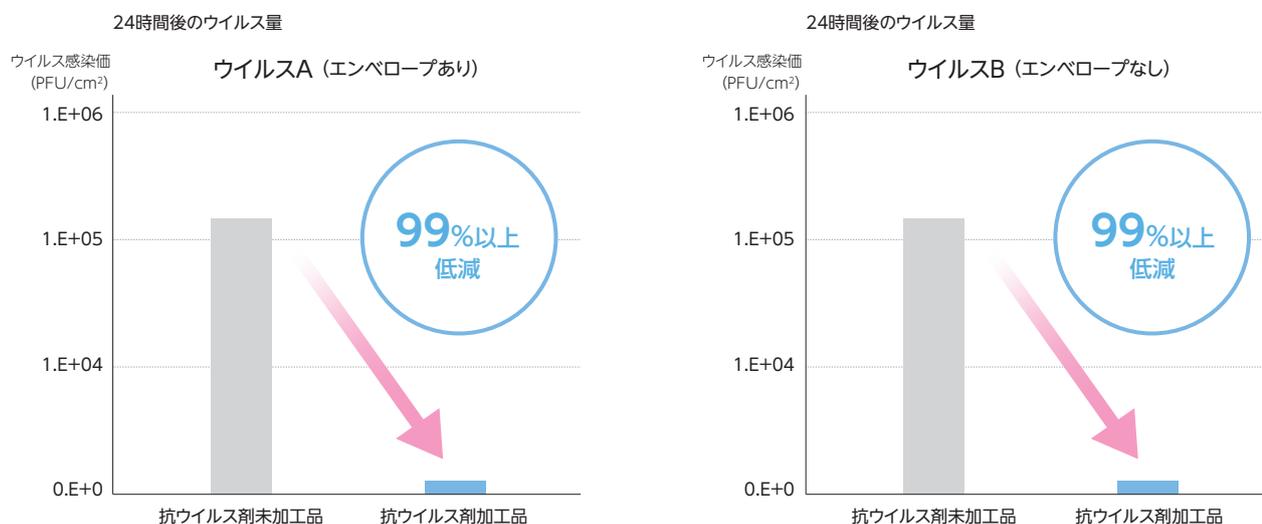
抗ウイルス活性値が2.0以上を示す製品に表示



〈POINT〉

床材だけでは感染対策はできません。インテリアを構成する要素は壁や什器など多岐にわたります。
また、感染対策という点では室内の空気にもケアが必要です。床材に抗ウイルス性をもったものを採用するだけで十分な
感染対策になるわけではありません。うがいや手洗いなどの感染対策や空気の清浄化などと併せてご利用ください。

■ACフロアの抗ウイルス性試験結果



ウイルス感染価: 試料中に含まれる感染性をもつウイルス量

抗ウイルス剤メーカーによる試験結果(数値は試験値であり保証値ではありません)

※上記の値は測定値であり、保証値ではありません。

※薬機法の関係上、特定のウイルス名が表記できないためウイルスA、ウイルスBと記載しています。

※試験結果は特定のウイルスを対象としたものであり、すべてのウイルスへの効果を示すものではありません。

※抗ウイルス加工は、病気の治療や予防を目的とするものではありません。

※床材表面に付着したウイルスに効果を発揮します。

※実際の使用状況で同様の効果を保証するものではありません。

試験方法 (ISO21702に準拠)

試験項目: 抗ウイルス性試験